

仏頂尊勝陀羅尼

全文ふりがな付きガイド

このPDFでわかること

- ・ 仏頂尊勝陀羅尼の基本情報
- ・ 日本で伝えられる読誦音の一例
- ・ 初心者向けの唱え方
- ・ 功德を受け止める際の注意点

基本情報

項目	内容
一般的な読み方	ぶっちょうそんしょうだらに
禅宗での読み方の例	ぶちんそんしんだらに
サンスクリット語	Uṣṇīṣavijayā Dhāraṇī
典拠	『仏頂尊勝陀羅尼經』など
伝統的な祈願	滅罪・生善・息災・延命・追善など

大切な前提

全文や発音には異本・異読があります。このPDFは日本で伝えられる読誦音の一例であり、特定宗派における唯一の正式本文を示すものではありません。寺院で唱える場合は、その寺院や僧侶の案内に従ってください。

仏頂尊勝陀羅尼 全文（前半）

息継ぎしやすい位置で区切り、無理のない声量でゆっくり唱えましょう。

のうぼ ばぎゃばてい
たらいろきや はらちびししゅたや
ぼだや ばぎゃばてい
たにやた おん
びしゅだや びしゅだや
さまさま さんまんだ はばしゃ そはらだ
ぎゃち ぎゃかのう そまはんば びしゅてい
あびしんしゃ とまん
そぎゃた はらばしゃのう あみりた びせいけい
まか まんだら はだい
あから あから
あゆさんだらに
しゅだや しゅだや
ぎゃぎゃのう びしゅてい
うしゅにしゃ びじゃや びしゅてい
さかさら あらしんめい さんそにてい
さらば たたぎゃた ばろきやに
さたはらみた はりほらに
さらば たたぎゃた きりだや
ちしゅたのう ちしゅちた
まか もだれい
ばざらぎゃや そぎゃたのう びしゅてい
さらば はらだ はやとり
ぎゃちはり びしゅてい
はらちにはらだや あよくしゅてい
さんまや ちしゅちてい

仏頂尊勝陀羅尼 全文（後半）

前頁から続けてお読みください。

まに まに まかまに
たただぼだ くち はりしゅてい
びさぼだ ぼじしゅてい
じゃや じゃや
びじゃや びじゃや
さもら さもら
さらば ぼだちしゅちたしゅてい
ぼじり ばざら ぎゃらべい
ばざらん はばと まま しゃりらん
さらば さとばなん しゃ
ぎゃや はりびしゅてい
さらば ぎゃち はりしゅてい
さらば たたぎゃたしつ しゃ めい
さんまじんばそ えんと
さらば たたぎゃた
さんまじんばそ ちしゅちてい
ぼじや ぼじや
びぼじや びぼじや
ぼだや ぼだや
びぼだや びぼだや
さんまんだ はりしゅてい
さらば たたぎゃた きりだや
ちしゅたのう ちしゅちた
まかぼだれい
そわか

初心者向け 唱え方5ステップ

1

静かな場所を整える
姿勢を楽にし、呼吸を落ち着けます。

2

ふりがなを確認する
最初は経本やこのPDFを見ながらゆっくり読みます。

3

一音ずつ丁寧に唱える
速さよりも、落ち着いた読誦を大切にします。

4

無理のない回数で続ける
回数にこだわらず、喉や体調に合わせて声を休ませます。

5

祈りを回向する
自分や他者、亡き人の安穩を願って結びます。

功德についての注意

経典では滅罪・息災・延命・追善などの功德が説かれます。ただし、唱えれば病気が治る、寿命が必ず延びる、事故や災害を確実に防げるという保証ではありません。読誦を心と行いを整える仏道の実践として大切にし、必要な医療・防災・安全対策は別に行いましょう。

発音や作法を正式に学びたい場合は、所属寺院や僧侶へご確認ください。